

AUTO CULTI

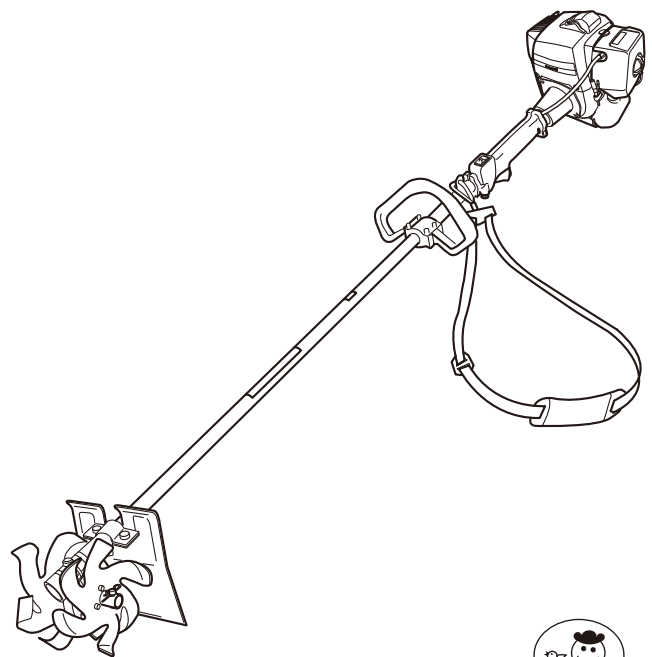
カルスタート式 耕うん機

オートカルチ

OC-272E

このたびは、ゴールデンスター／オートカルチをご購入いただき、誠にありがとうございます。

本書は運転操作および保守上の重要な項目について説明したものです。ご使用前に必ずお読みいただき、正しくご使用いただくとともに、お使いになる方がいつでもご覧いただけるように大切に保管してください。



目次

安全にお使いいただくために	2	お手入れ方法と保管方法	17
各部の名称と仕様	6	1. お手入れ	17
耕うん機の取扱い	8	1-1. グリースの給油	18
1. エンジン始動までの準備	8	1-2. エアクリーナの点検・清掃	19
1-1. ループハンドルを本体へ取付ける	8	1-3. 点火プラグの清掃	20
1-2. プロテクターを本体へ組付ける	9	1-4. 燃料フィルターの清掃	20
1-3. ハンガーとショルダーバンドの取付けと調整をする	9	1-5. ブレードの点検・交換	21
1-4. 燃料の給油をする	10	1-6. 耕うん機のお手入れ	22
2. 耕うん作業	11	2. 長期保管について	23
2-1. エンジンを始動する	11	2-1. 長期保管のためのお手入れ方法	23
2-2. 耕うん作業開始	14	トラブルシューティング	25
2-3. エンジンを停止する	16	1. 各種調整方法について	26
2-4. 耕うん作業後は	16	1-1. スロットルケーブルの遊びの調整のしかた	26
		1-2. アイドリング速度の調整のしかた	26

安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、お客様への危害や損害を未然に防止するために重要な内容ですので、必ずお守りください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険

死亡または重大な傷害を受ける事故が発生する内容です。
禁止事項は絶対にやめてください。

⚠ 警告

死亡または重大な傷害を受ける事故が発生するおそれがある内容です。
禁止事項は絶対にやめてください。

⚠ 注意

軽傷または中程度の傷害を受け、財物の損壊等につながる事故が発生するおそれがある内容です。充分にご注意ください。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



禁止

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



必ず守る

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



注意

この絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。

取扱説明書について

- この取扱説明書およびエンジン取扱説明書は、本機を操作する際、必ず身近な所に置いてください。
 - 本機を貸与または譲渡される場合は、本機と一緒に取扱説明書もお渡しください。
 - 紛失や損傷したときは、お買い上げいただいた販売店に連絡してください。
-

安全にお使いいただくために

⚠ 危険



よく読む

使用前に取扱説明書をよく読む

- 本機を使用する場合は、取扱の方法、作業の仕方等を習得してから慎重に耕うん作業をしてください。



禁止

耕うん作業以外には使用しない

- 本機は耕うん作業をするために設計・製造されています。耕うん作業以外には絶対使用しないでください。

ブレードが損傷したものは使用しない

- ブレードに亀裂・欠け・変形・ワレ等のある物は新品と交換してください。

ブレードに手足等、身体を近づけない

- エンジン始動中、ブレードに手足等身体を近づけないでください。

子供や操作方法が理解出来ない方は使用しない

- 本機の操作方法をご存知ない方、または理解できない方には操作させないでください。
- 本機に子供や物品を乗せたり、子供に操作をさせないでください。
- 未成年の方による操作は、保護者の監督下でない限りおやめください。

こんなときには使用しない

- 夜間及び天候の悪い時は使用しないでください。
- 疲れている場合は使用しないでください。もし、機械使用中に疲れた場合は、作業を中断し休憩してください。



必ず守る

次の場合、エンジン回転を停止させ、点火プラグキャップを点火プラグより外し作業を行うこと

- 使用時以外（移動・保守・点検・整備・保管）
- ブレードに空缶・針金・小石等の異物が噛み込んで異常を感じた時（直ちに使用を中止し異物を取除き、ブレードや本機に異常がないかを点検し、異常があれば修理してください）
- ブレード部に草等が巻き付いた時
- 作業中、本機から離れる時

安全にお使いいただくために

⚠ 警告



点検・確認

使用前に各部の点検・調整及び組立方法を確認する

- 正常でない機械を使用するとケガや故障の原因になりますので、各部の点検・調整及び組立方法を確認してください。
- 各部のネジに緩みがないか、各部品に損傷がないか、正常に動作するか充分点検してください。
- 本機の組立を適切に行ってください。



必ず守る

プロテクターは必ず取付けて使用する

- プロテクターを外した状態では危険ですので、使用しないでください。

使用前に障害物を必ず取除く

- ブレードが空缶・針金・小石等の硬いものに当たった時はブレード等を傷めたり、故障やケガ(障害物の飛散による)の原因となりますので、必ず取除いてください。

換気の悪い室内ではエンジンを運転しない

- 有害な排気ガスによって中毒の恐れがあります。

子供やペットを近づけない

- 耕うん作業時に飛散物によりケガをする恐れがありますので、作業員以外は作業場に近づけないでください。

作業に適した服装で作業する

- 操作時は常に安全面に配慮し、長袖・長ズボン(袖・裾のダブつきのない)などの作業服を着用してください。
- 各部の点検、整備、調整及び耕うん作業時は、JIS等の規格に合格した安全帽を着用するとともに革手袋、防塵メガネ・耳栓をつけ、足元の保護のため安全靴を履いてください。

安全にお使いいただくために

⚠ 注意



必ず守る

本機をぶついたり、落下させたり強い衝撃を与えない

- ブレードや本体などに破損、亀裂、変形があるとケガや故障の原因となります。

本機の分解や改造をしない

- 機械の手入れに必要な部品は、安全確保のために純正部品をご使用ください。
- 本機に異常を感じた時は直ちに作業を中止し、必ずお買求めの販売店にお申し付けください。
- 取扱説明書の記載以外の分解修理及び改造は行わないでください。故障する恐れがあります。



必ず守る

点検・調整・手入れをする時は…

- 本機の点検・調整、ブレードの点検・調整や手入れなどを行う場合は、特にケガ防止の為に必ず革手袋を着用してください。

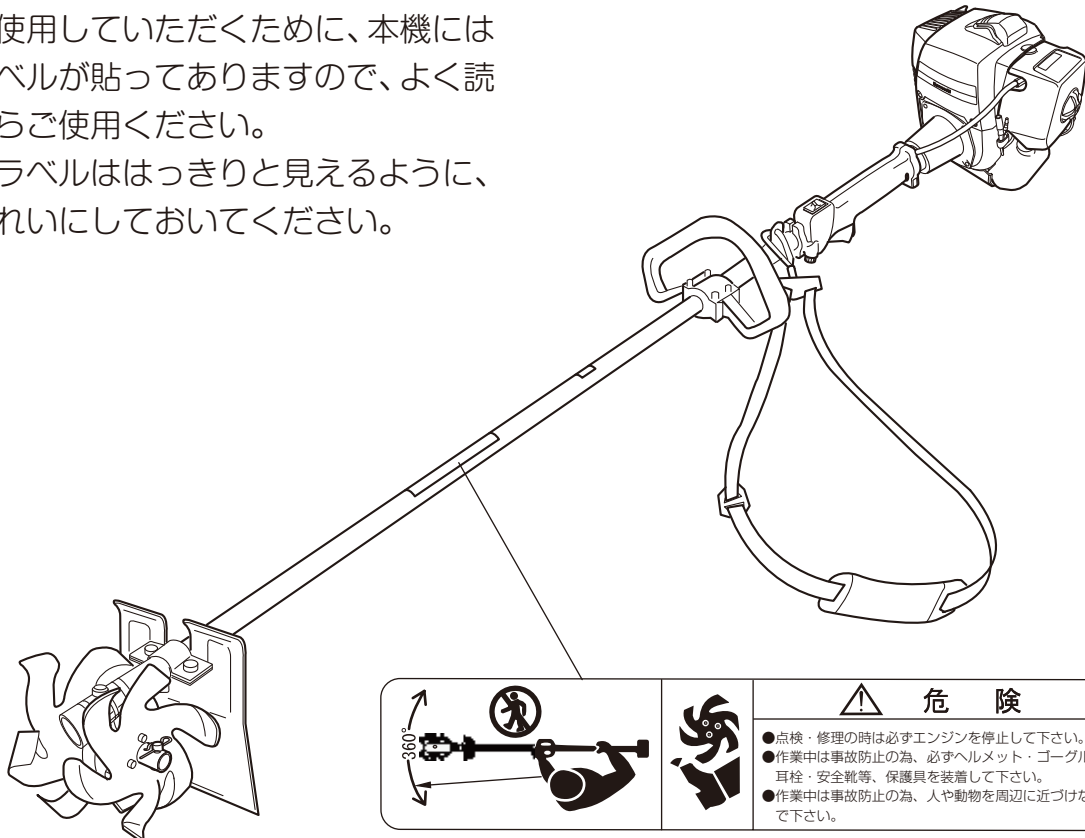
使用後や収納保管時の注意点





- 使用後はお子様の手が届かない、鍵のかかる所に保管してください。

危険ラベルの貼付位置

安全に使用していただくために、本機には危険ラベルが貼ってありますので、よく読んでからご使用ください。

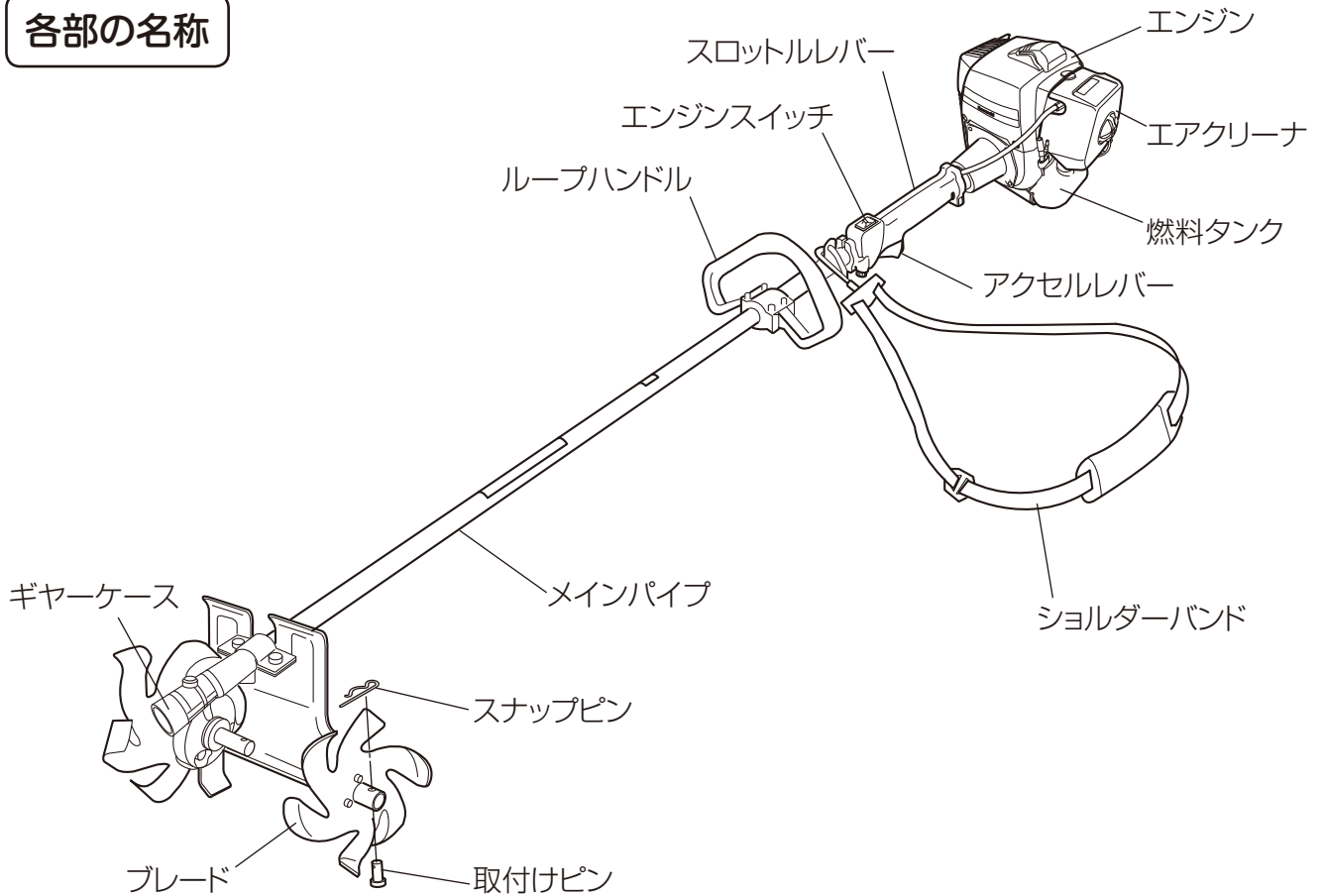
なお、ラベルははっきりと見えるように、常にきれいにしておいてください。



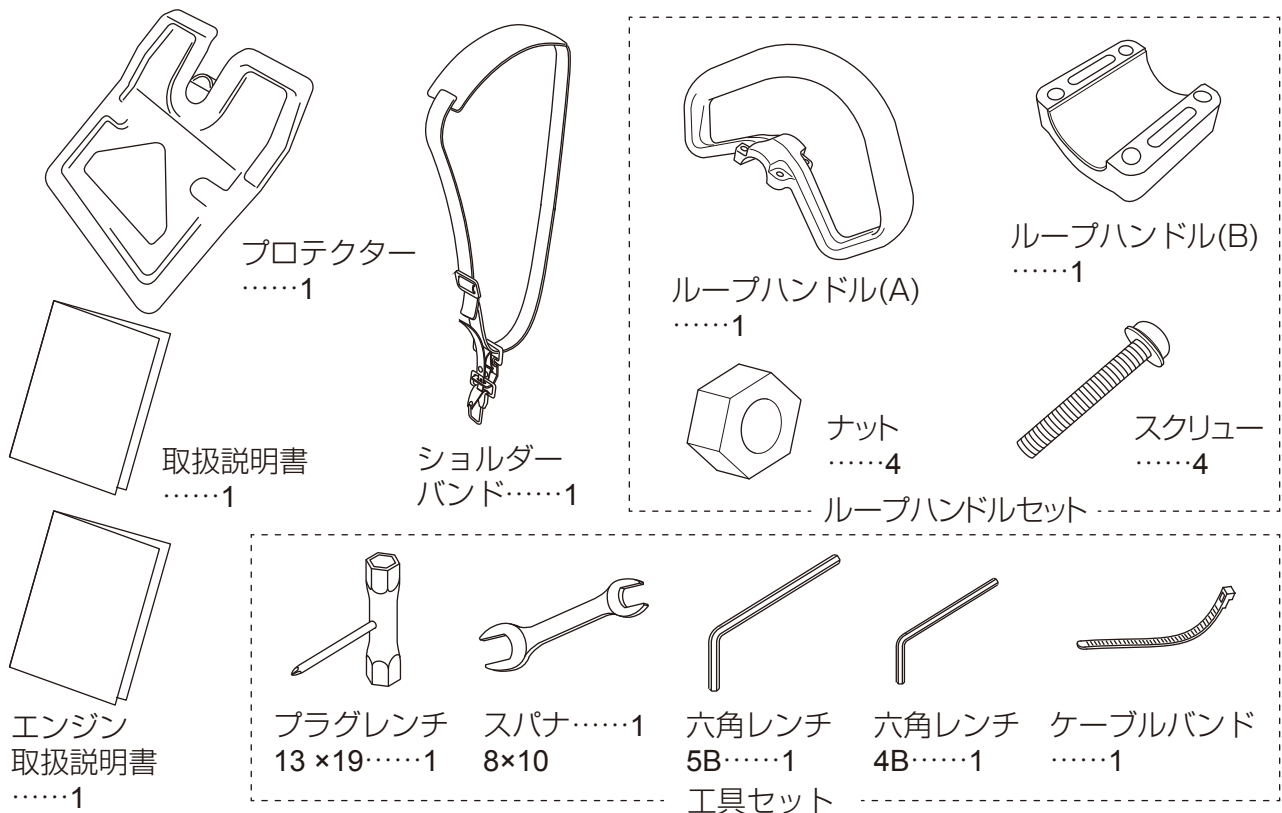
			⚠ 危険 <ul style="list-style-type: none">●点検・修理の時は必ずエンジンを停止して下さい。●作業中は事故防止の為、必ずヘルメット・ゴーグル・耳栓・安全靴等、保護具を装着して下さい。●作業中は事故防止の為、人や動物を周辺に近づけないで下さい。	
---	---	---	---	---

各部の名称と仕様

各部の名称



付属部品



各部の名称と仕様

必ず梱包品の確認を行ってください

⚠ 注意



必ず守る

- 開梱、組立作業は、けが防止のため必ず安全靴・手袋を着用してください。

段ボール箱を開封し、梱包品が全て揃っているか確認してください。
※箱、梱包材は収納時や移送時に必要です。大切に保管してください。

仕 様

本機型式	OC-272E
エンジン型式	空冷2サイクルガソリンエンジン
総排気量	cm ³ 26.3
最大出力	kW(PS)/rpm 0.77 (1.04) / 7000
使用燃料	混合ガソリン (50:1)
燃料タンク容量	ℓ 0.5
気化器	ダイヤフラム式
点火プラグ	NGK BPMR7A
ハンドル形状	ループハンドル
装備質量	kg 約6.4

本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

耕うん機の取扱い

1. エンジン始動までの準備

⚠ 注意



刃物注意

- 本機の組立てや各部の調整を行う場合は、ケガ防止の為に必ず革手袋を着用し、安全に充分注意してください。

1-1. ループハンドルを本体へ取付ける

⚠ 警告



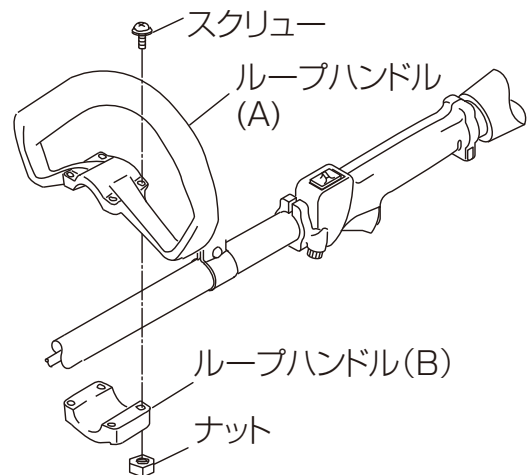
必ず守る

- ハンドルは安全快適な作業を行うために重要な役割をしますので、確実に取付けてください。

ループハンドル(A) (B) でメインパイプを挟み込み、4本のスクリューとナットで確実に締付けます。

ポイント

- 画像で詳しくご覧になれます。
- 最終調節はブレード・プロテクターを取付けた後に行ってください。



1-2. プロテクターを本体へ組付ける

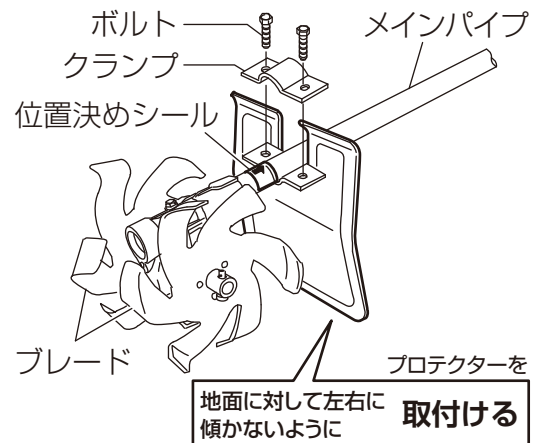
⚠ 警告



必ず守る

- プロテクターは作業時の飛散物から身を守る部品ですので、必ず定位置に取付け、破損した場合は、必ず新品と交換してください。

プロテクターをメインパイプの位置決めシールの位置に合わせ、クランプでメインパイプを挟み、2本のボルトで確実に締付け固定します。



ポイント

- 画像で詳しくご覧になれます。
- ブレードが地面に対して左右に傾かないように、プロテクターを取付けてください。



1-3. ハンガーとショルダーバンドの取付けと調整をする

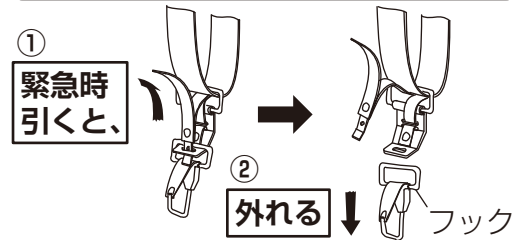
⚠ 危険



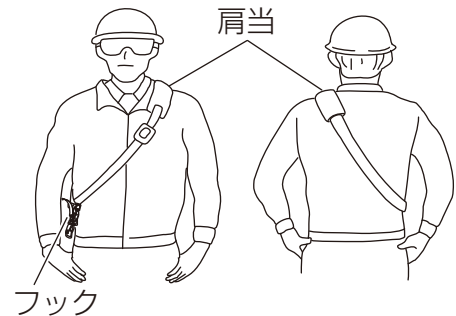
必ず守る

- 作業前に緊急離脱ベルトを上を引き上げた時、フックが外れることを確認してください。フックが外れないときは絶対に使用しないでください。フックが外れないと緊急時の危険回避が出来ません。

緊急離脱ベルトのチェックのしかた



ハンガーをショルダーバンドで吊った時、ショルダーバンドのフックが右腰に、肩当が左肩(両肩)にくるようにかけてください。



ポイント

- 肩掛けバンド シングル
SB-1 No.700050
- ※ご用命の際は本機をご購入の販売店、又は貼付のQRコードをお使いください。



ショルダーバンドのフックをハンガーに掛け、身体に応じてバンドの長さを調整!

耕うん機の取扱い

1-4. 燃料の給油をする

⚠ 警告



禁止

- 周辺は火気厳禁にしてください。また発火の恐れがあるので、エンジンが冷えてから給油・点検を行ってください。
- 燃料をこぼさないでください。もしこぼした場合は完全に拭取ってください。
- 燃料は絶対に規定量以上入れないでください。入れすぎると作業中に漏れて発火する恐れがあります。



必ず守る

- 点検は本機を水平にし、安定した場所で必ずエンジンスイッチを“○” (OFF) の位置にしてエンジンを止め、点火プラグキャップを点火プラグより外して行ってください。
- 給油後は、燃料タンクのキャップを確実に締付けてください。
- 混合ガソリンは、購入後約2～3ヶ月以上経過したものや異物を混合されているものは使用しないでください。エンジン不調の原因となります。作業に消費する量だけ燃料を混合してください。
- 粗悪ガソリンをご使用の場合における故障、クレームにつきましては保証対象外となりますのでご注意ください。

⚠ 注意



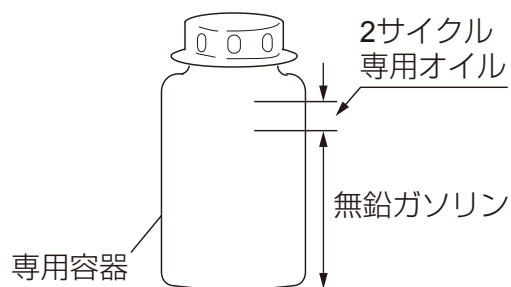
必ず守る

- 2サイクルエンジンですので、燃料は自動車用無鉛ガソリンと2サイクル専用オイル (FC 級) を50 : 1 (ガソリン : オイル) の比率で混合してご使用ください。
- 容器が汚れていたり混合比を間違えると、エンジン焼付きの原因になります。

燃料の混合のしかた

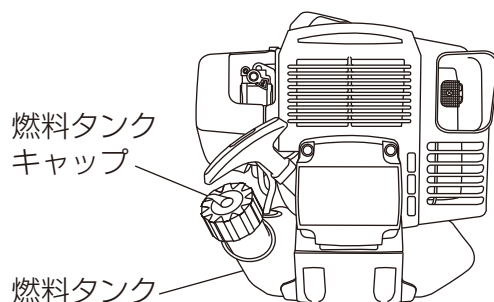
きれいなキャップ付容器に2サイクル専用オイル (FC 級) 20mℓ に対して、自動車用無鉛ガソリン1ℓ を入れて、よく振って混ぜ合わします。

自動車用無鉛ガソリン	2サイクル専用オイル (FC 級)
1ℓ	20mℓ






給油のしかた

- ① 燃料キャップを外し、給油口の根元部を超えないように補給します。
- ② 補給後、燃料キャップを確実に締付けてください。



2. 耕うん作業

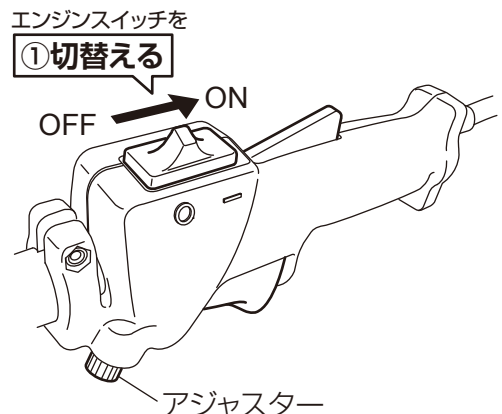
2-1. エンジンを始動する

⚠ 警告	
 よく読む	<ul style="list-style-type: none">エンジンの取扱いについては、別紙のエンジン取扱説明書を必ずお読みください。
 禁止	<ul style="list-style-type: none">排気ガスには有毒な一酸化炭素が含まれています。屋内や換気の悪い場所ではエンジンを始動しないでください。一酸化炭素によるガス中毒になる恐れがあります。排気を吸わないよう注意してください。
 必ず守る	<p>エンジンを始動する前に、次のことを必ずご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none">本機各部のネジ類のゆるみ、部品の脱落、グリース・燃料の有無、燃料漏れ等の異常はないか。ブレードは確実に取付けられているか、ブレードに損傷や異常はないか。 <p>エンジンを始動する時は、必ず次のことを守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none">周囲に充分注意し、ブレードは地面に触れないようにしてください。始動は燃料補給場所とは異なる火気のない所で行ってください。 <p>耕うん作業中は必ず次のことにご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none">エンジン回転を上げる場合は、急激に上げず徐々に回転を上げてください。回転速度をむやみに上げないでください。異常音、異常振動等異常を感じた時は、すぐにエンジンを停止し、点検・修理を行ってからご使用ください。

① エンジンスイッチを“ON”位置にします。

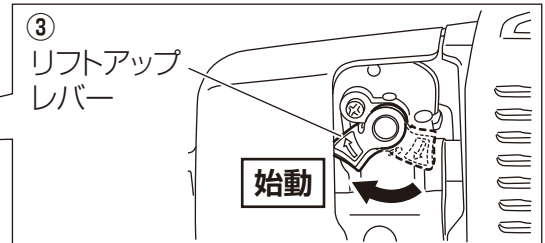
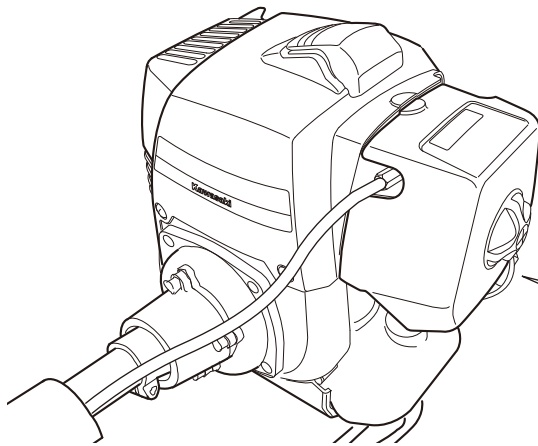
ポイント

- アジャスターの役目は…
アクセルレバーを握った時の移動量を規制し、エンジン最高回転数を調整するものです。



耕うん機の取扱い

- ② プライミング操作を行います。キャブレターのプライミングポンプを指でゆっくり数回押し、オーバーフローチューブ (透明) に燃料が流れ始めたら、プライミングポンプを押すことを止めます。
- ③ キャブレターのリフトアップレバーを、指で“カチッ”と感触があるまで、時計廻り方向に廻して、“始動”位置にします。



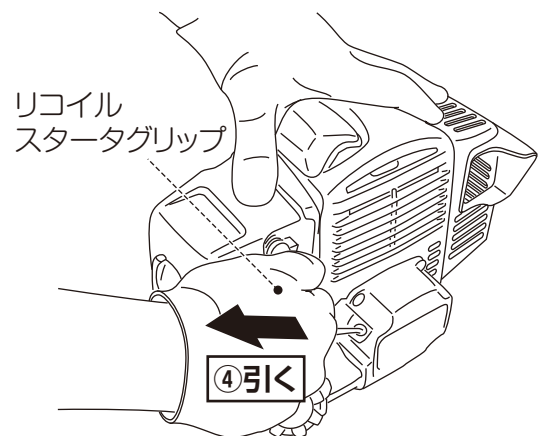
ポイント

- リフトアップレバーが廻せない場合は…
アクセルレバーが一杯に戻っているか確認します。
- 酷暑時またはエンジンが温まっている時は…
リフトアップレバーの操作は不要です。

- ④ 周囲に人や障害物がない事を確認し、リコイルスタータグリップを素早く引張ります。
(リコイルスタータは引き力を低くした構造なので軽い力で引けます。)

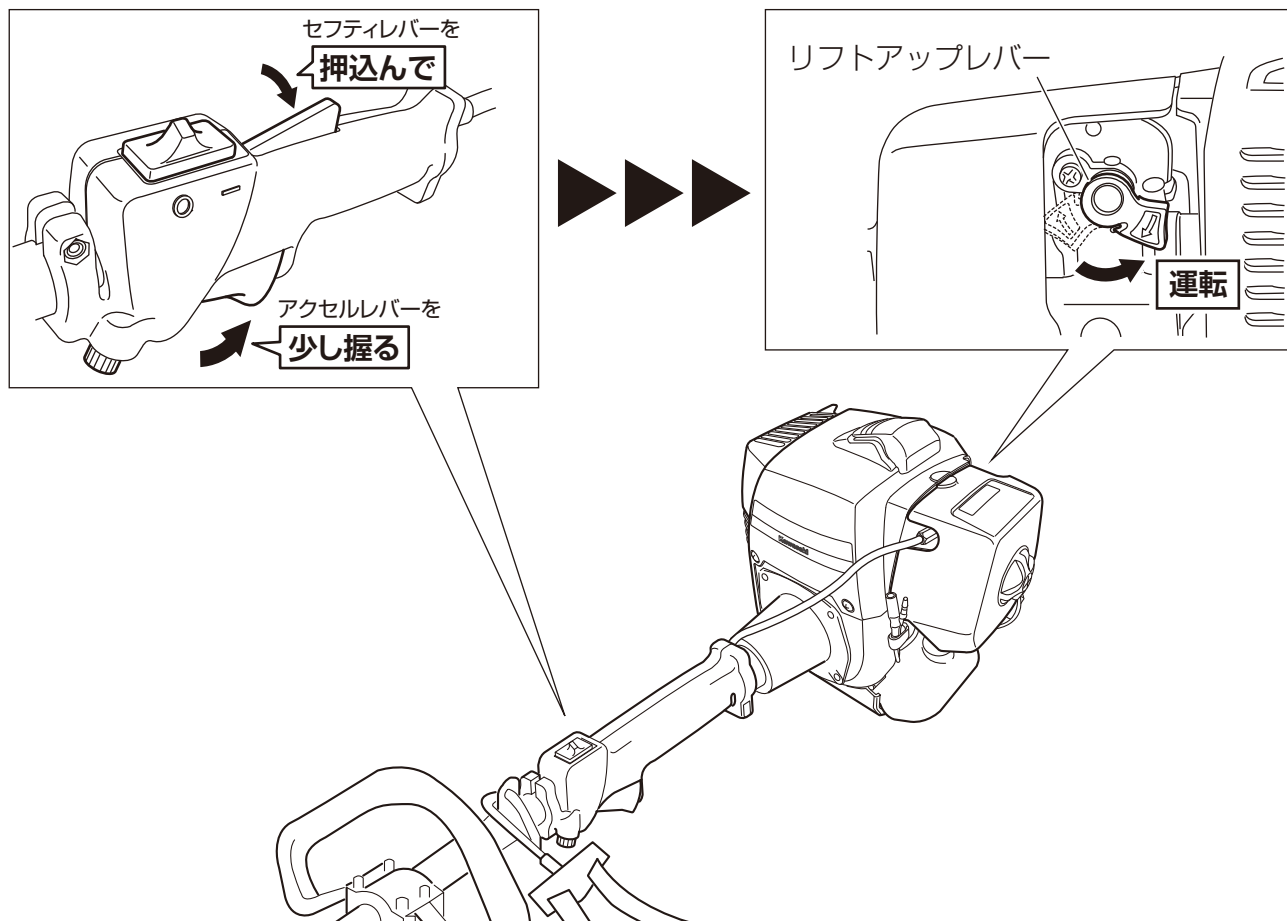
ポイント

- ロープは全部引ききらないでください。また
ロープは静かに戻してください。



耕うん機の取扱い

- ⑤ エンジンが始動したら、セフティーレバーを先に押込み、アクセルレバーを少し握ってリフトアップレバーを“運転”位置にします。その後、アクセルレバーを“始動”（一杯に戻した）位置に戻し、約3分間暖機運転（アイドリング状態）を行ってください。



ポイント

- リフトアップレバーはアクセルレバーをわずかに握る事で、“始動”から“運転”位置へ自動的に戻ります。

耕うん機の取扱い

2-2. 耕うん作業開始

⚠ 警告



よく読む

- 作業中は事故防止の為、取扱説明書の“安全にお使いいただくために”の項や各調整項目をよく理解し、本機の危険ラベルの指示に従ってください。



必ず守る

作業に適した服装で作業する

- 操作時は常に安全面に配慮し、長袖・長ズボン（袖・裾のダブつきのない）などの作業服を着用してください。
- 各部の点検、整備、調整及び耕うん作業時は、JIS等の規格に合格した安全帽を着用するとともに革手袋、防塵メガネ・耳栓をつけ、足元の保護のため安全靴を履いてください。

使用前に障害物を必ず取除く

- ブレードが空缶・針金・小石等の硬いものに当たった時はブレード等を傷めたり、故障やケガ（障害物の飛散による）の原因となりますので、必ず取除いてください。
- 作業中に本機から離れる場合は、必ずエンジンを停止してください。

⚠ 注意



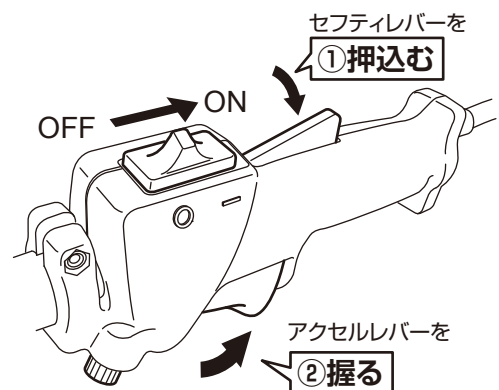
必ず守る

- 耕うん作業は、エンジン回転が十分に上昇してから行ってください。

耕うん作業をするには…

エンジンを始動し（P.11「2-1. エンジンを始動する」を参照）、右手でスロットルレバー、左手でループハンドルを握ります。この時、アクセルレバーは握らないでください。

- ① ブレード側を浮かした状態でセフティーレバーを押込みます。
- ② アクセルレバーに指を掛けて握り、エンジン回転を上げていき、作業回転速度になれば耕うん作業を開始します。



ポイント

- 作業回転速度は、地面等の状態により変えてください。

耕うん機の取扱い

耕うん作業

エンジンの回転数が一定になれば、ブレードを地面に着け、ループハンドルを軽く押えるように本機を前後に動かしながら作業をします。

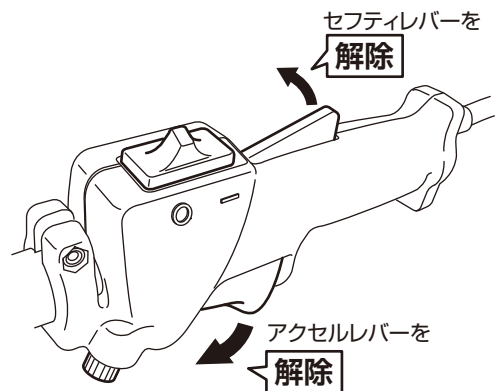


ポイント

- 耕うん作業は能率よく作業される場合は前進で、より深く耕す場合は後進で行ってください。
- エンジンの回転数が下がって作業ができない場合があります。その場合はブレードを浮かしてエンジンの回転を回復した後に再度作業を行うか、耕うん深さを浅くして作業を行ってください。

耕うん作業を停止するには…

作業を中止・終了したい時は、アクセルレバーとセフティレバーを解除した後、必ずエンジン回転を停止させます。



耕うん機の取扱い

2-3. エンジンを停止する

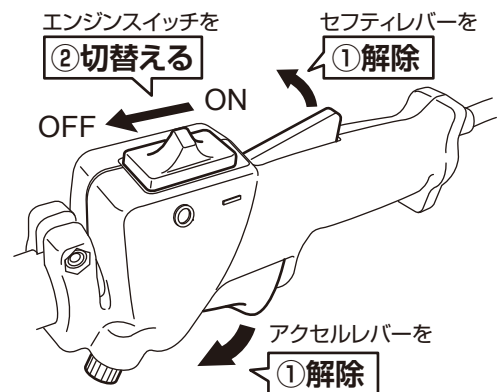
⚠ 警告



必ず守る

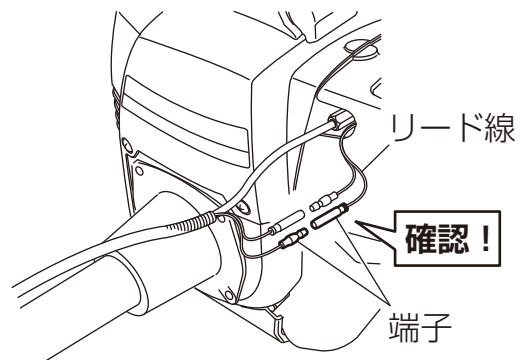
- 作業前にエンジンスイッチでエンジンが停止することを、必ず確認してから作業を開始してください。
- エンジンが停止しない場合には使用しないでください。緊急時の危険回避ができず大変危険です。

- ① アクセルレバーを“始動”位置(アイドリング状態)にして約1分間運転します。
- ② エンジンスイッチを“OFF”の位置に戻してください。



ポイント

- エンジン回転が停止しない場合は…
エンジンとスロットルケーブルのリード線端子が抜けているとエンジン回転が停止できません。リード線端子の抜けがないか確認して、抜けていれば確実に差込んでください。



2-4. 耕うん作業後は

⚠ 注意



刃物注意

- ブレードに手や指が触れるとケガをする恐れがあります。必ず革手袋を着用し、取扱いには充分注意してください。

いつまでも最良の状態を保つために、ご使用後は本体、ブレード、プロテクター、ループハンドルをきれいに清掃し、油布で金属部の手入れをした後、日中よく乾燥させてください。

お手入れ方法と保管方法

1. お手入れ

⚠ 警告



必ず守る

各点検・整備・調整は…

- 事故防止のために必ず行ってください。
 - 必ずエンジンを停止させ、点火プラグキャップを点火プラグから抜いて行ってください。
 - ケガ防止のため、安全帽・防塵メガネ・手袋・安全靴を必ず着用してください。
-
- 本機全体のチリやホコリをよく取除いてください。
 - ブレードに損傷がある時は、ゴールドンスター指定の純正のブレードと交換してください。
 - お手入れを怠った場合における故障・クレームは保証対象外となりますのでご注意ください。また上記以外の場合でも保証対象外となる故障・クレームがありますのでご注意ください。

⚠ 注意



必ず守る

- 本機に異常を感じた時はただちに作業を中止し、修理が必要な場合は必ずお買い求めの販売店へお申し付けください。
- 取扱説明書の説明以外の分解修理及び改造は行わないでください。また必ずゴールドンスター純正部品、付属品を使用してください。

本機をいつまでも安全で快適にご使用いただくために定期点検を行いましょう。

点検項目		作業時間				
		作業毎	10時間	20時間	50時間	100時間
グリース	点検	○				
	交換			○ ※1		○
エアクリーナ	点検	○				
	清掃		○ ※2			
ブレード・取付けピン類	点検	○				
各部のボルト・ナット	点検	○			○ ※3	
点火プラグ	点検・清掃				○	
燃料フィルター	清掃			○		

※1 初回のみ。

※2 特にホコリの多い場所で使用した場合、より頻繁に行ってください。

※3 増し締めします。

お手入れ方法と保管方法

1-1. グリースの給油

⚠ 警告



必ず守る

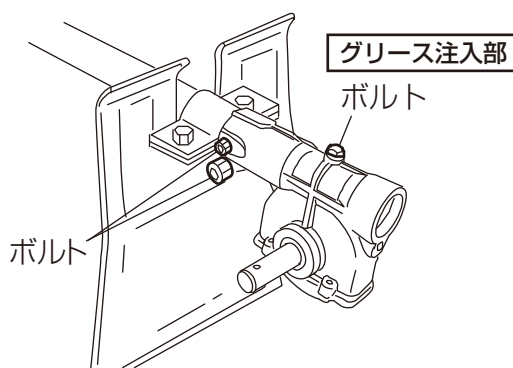
- 燃料漏れやギヤケースにグリース漏れがないかを点検し、漏れがある場合は修理してください。

点検交換時期

点検・交換…最初の20時間使用後及び100時間使用毎。ギヤケースのグリースを点検。

給油のしかた

- ① ブレードをギヤケースから外した状態で、ギヤケースを取付けているボルト2本を外し、ギヤケースを取外します。
- ② グリース注入部のボルトを取外し、グリースガンを使ってボルト穴からグリースを注入します。この時、メインパイプ挿入穴の奥に見えるベアリングからグリースが出ているのを確認してください。
- ③ グリース注入後は、グリース注入部のボルトを取付け、ギヤケースをメインパイプに差込み、ボルト2本で確実に締付けて固定します。



ポイント

- グリースは市販品の極圧添加剤入りリチウム系グリースの No.2 をご使用ください。
推奨グリース：日本グリース／ニグエース K-2

お手入れ方法と保管方法

1-2. エアクリーナの点検・清掃

詳細はエンジン取扱説明書をお読みください

⚠ 警告



禁止

- エLEMENTの清掃の際には、通気性の良い、火のない場所で行ってください。
- ガソリン等の引火性の強い洗浄液は、ELEMENTの洗浄に使用しないでください。

⚠ 注意



必ず守る

- エアクリーナあるいは部品を外したままでエンジンを運転しないでください。エンジン内部が早く磨耗して故障の原因になります。

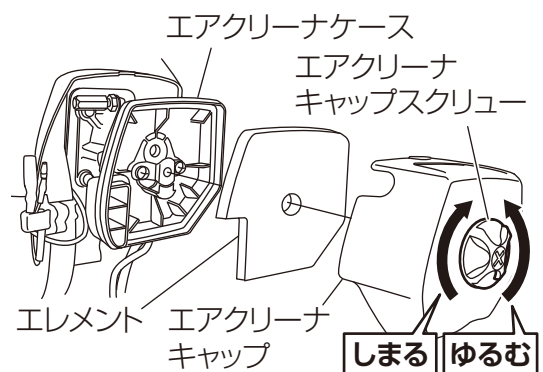
エアクリーナが目詰りをおこすと、エンジン出力・回転の不足や燃料消費が多くなります。定期的に点検・清掃を行ってください。

点検清掃時期

点検・清掃…作業毎。埃の多い所で使用した場合は、1日1回または10時間毎。

清掃のしかた

- ① エアクリーナキャップスクリューをゆるめ、エアクリーナキャップを取外します。
- ② エアクリーナケースから取外したELEMENTは、洗浄剤と水で洗い、十分に乾燥させてください。
- ③ エアクリーナケースにELEMENT、エアクリーナキャップの順に確実に再組付けしてください。



お手入れ方法と保管方法

1-3. 点火プラグの清掃

詳細はエンジン取扱説明書をお読みください

⚠ 警告



禁止

- 点火プラグの清掃・調整はエンジンが冷えてから行ってください。



必ず守る

- 電極が汚れたり電極の隙間が不適切な状態では完全な火花が飛ばなくなり、エンジン回転が不均一になり、エンジン不調の原因となります。
- 点火プラグの取付けは、ネジ山をつぶすおそれがありますので、はじめは指で軽くねじ込み (5 ~ 6山)、次にプラグレンチで確実に締付けてください。
点火プラグ締付けトルク 15N・m (1.5kgf・m)

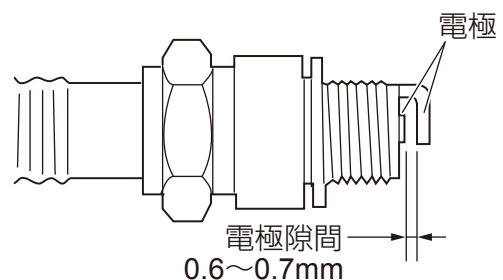
点検清掃時期

点検清掃…運転50時間毎。点火プラグの清掃と電極隙間の調整を実施。

清掃のしかた

- ① 点火プラグキャップを点火プラグから外し、プラグレンチでエンジンから取外します。
- ② 次に点火プラグに付着したカーボン等をプラグクリーナ、またはワイヤーブラシ等で落とします。
- ③ 最後に電極隙間を0.6 ~ 0.7mmになるよう調整します。

推奨点火プラグ：NGK BPMR7A



1-4. 燃料フィルターの清掃

詳細はエンジン取扱説明書をお読みください

⚠ 警告



禁止

- 周囲は火気厳禁にしてください。

⚠ 注意



必ず守る

- 汚れがひどい場合は燃料がキャブレタへ流れなくなり、エンジンが始動不良や回転不調となりますので販売店と相談してください。

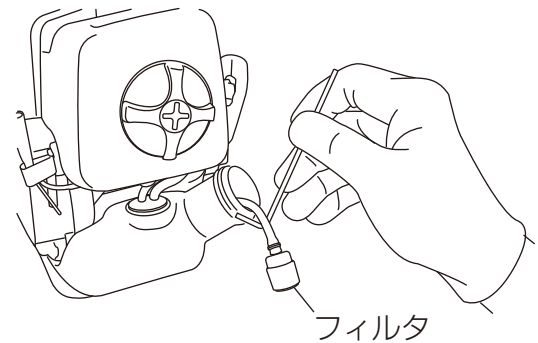
お手入れ方法と保管方法

清掃時期

清掃…20時間毎。

清掃のしかた

燃料フィルタを燃料タンクから針金等で引出し、高引火点の溶剤（パーツクリーナー）等で洗浄したら、よく乾かし、燃料タンクに戻してください。



1-5. ブレードの点検・交換

⚠ 警告



必ず守る

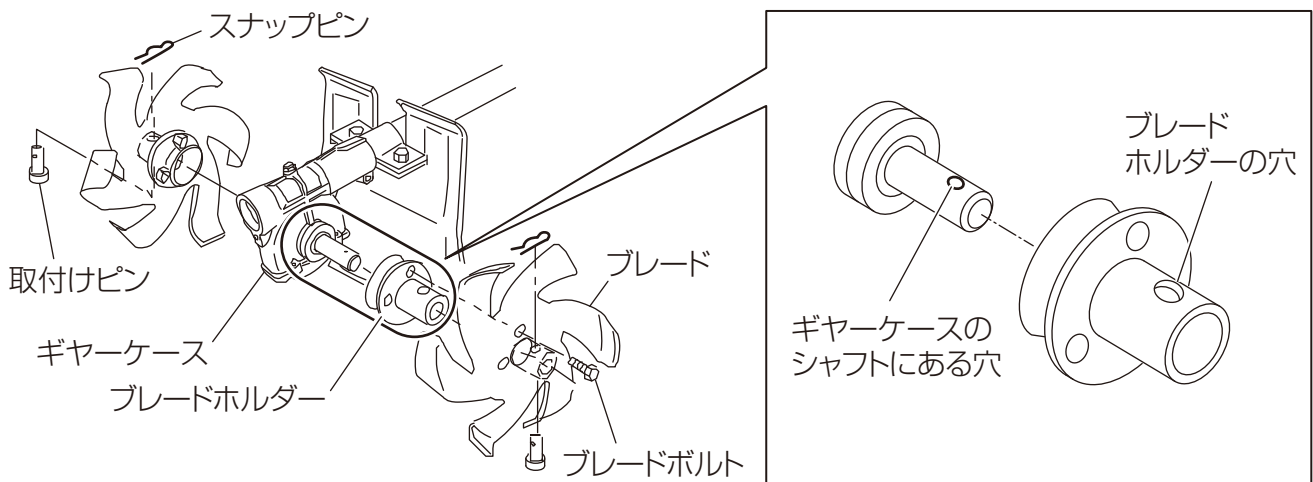
- 作業前に必ずブレード・ブレードボルト・取付けピン・スナップピンを点検し、“割れ”“変形”“摩耗”等異常があれば、新品と交換してください。

清掃時期

点検・交換…作業毎。

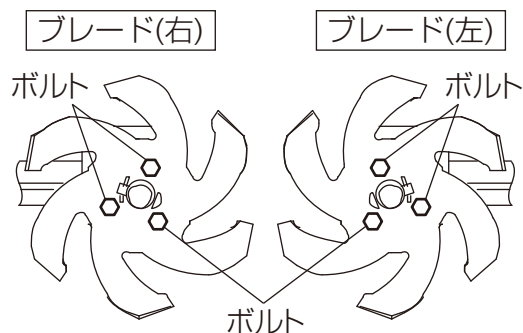
交換のしかた

- ① スナップピンを抜いて、取付けピンを外し、ブレードが取付けてあるブレードホルダーをギヤケースのシャフトから外します。



お手入れ方法と保管方法

- ② ブレードを取付けているボルト3本を取外し、ブレードをブレードホルダーから外します。



- ③ ブレードホルダーに新しいブレードをボルトでしっかりと取付けます。

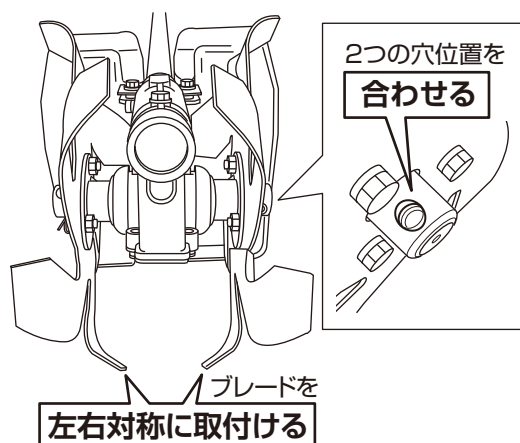
ポイント

- この時ブレードの取付け方向に注意してください。

- ④ ブレードを取付けたブレードホルダーをギヤケースのシャフトに差込み、シャフトの穴とブレードホルダーの穴位置を合わせ、ブレードが必ず左右対称の状態になるようにし、取付けピンとスナップピンを取付けて固定します。

ポイント

- 画像で詳しくご覧になれます。



1-6. 耕うん機のお手入れ

⚠ 注意



必ず守る

- 調整、お手入れ等の際は、ケガ防止の為に必ず革手袋を着用し、充分安全に注意して行ってください。
- お手入れの際はガソリン、シンナー、ベンジンは使用しないでください。

いつまでも最良の状態を保つために、ご使用後は本体・ブレード・プロテクター・ループハンドルをきれいに清掃し、油布で金属部の手入れをした後、日中よく乾燥させてください。

2. 長期保管について

⚠ 警告



必ず守る

- 燃料は非常に引火しやすく、また気化したガソリンは爆発して死傷事故を引き起こすことがあります。
- 燃料を抜く時は換気のよい場所で行い、火気を絶対に近づけないでください。
- 燃料はこぼさないように抜いてください。
- 油脂類の廃液は法令で適切な処理を行なうことが義務づけられています。法令に従い適正に処理してください。不明な点は、お買い上げになった販売店にご相談ください。

燃料タンク、キャブレター内に燃料を残したまま長期間放置すると、始動困難や出力低下等の故障の原因となります。長期保管の際は、下記要領でお手入れを行ってください。

2-1. 長期保管のためのお手入れ方法

① 燃料を抜きます。

- 1) 燃料タンクの燃料を別の容器に移し換えます。
- 2) 気化器内の燃料はプライミングポンプを数回押し抜きます。

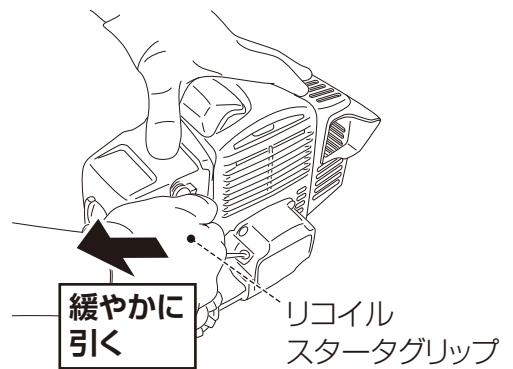


- 3) エンジンを始動し、アイドリング速度でエンジンが自然に停止するまで運転します。
- 4) エンジンが冷えてから点火プラグキャップ、点火プラグの順に外して、点火プラグ穴から新しいエンジンオイルを約0.5 ml 注入します。



お手入れ方法と保管方法

- 5) リコイルスタータグリップを緩やかに数回引いた後、点火プラグを取付け、もう一度リコイルスタータグリップを緩やかに引き、重く感じたらこの操作を止めます。



- ② 燃料の抜取りが終わったら、エアクリーナの清掃、各部のボルト・ナット・部品など点検・交換を行い、さびやすい部品にグリスかエンジンオイルを塗布した後、子供の手の届かない鍵のかかる場所に保管してください。

トラブルシューティング

本機に異常があれば、下表より原因を探り適切な対策を施してください。

不調の状況	予想される原因	対 策
エンジンが 始動しない	燃料がない	燃料を補給する。
	エンジンスイッチが“OFF”	エンジンスイッチを“ON”にする。 (P.11「2-1. エンジンを開始する」を参照)
	リフトアップレバーが始動位置に セットされていない	始動位置にセットしリコイルを引く。 (P.11「2-1. エンジンを開始する」を参照)
	キャブレターに燃料が来ていない	プライミング操作を数回行う。 (P.11「2-1. エンジンを開始する」を参照)
	燃料フィルターの目詰り	燃料フィルターの清掃。 (エンジンの取扱説明書参照)
	点火プラグキャップが外れている	点火プラグキャップを確実に取付ける。 (エンジンの取扱説明書参照)
エンジンが 加速しない	ブレードとギヤーケース部に異物を 巻き込んでいる	異物を取り除く
	スロットルケーブルの遊びが大きい	遊びを調整する。 (P.26「1-1. スロットルケーブルの遊びの調 整のしかた」を参照)
	エアーのエLEMENTが目詰りして いる	エアーELEMENTを清掃する。 (P.19「1-2. エアクリーナの点検・清掃」を 参照)
	点火プラグが汚れている	点火プラグを清掃もしくは交換する。 (P.20「1-3. 点火プラグの清掃」を参照)
本機が異常 振動する	ブレードが欠け、割れ、曲っている	新品のブレードと組み替える。
	ブレード・ギヤーケースもしくは エンジンを取付けているボルトが 緩んでいる	ボルトを確実に締付ける。
アイドリング 位置で ブレードが 回転する	スロットルケーブルの遊びがない	遊びを調整する。 (P.26「1-1. スロットルケーブルの遊びの調 整のしかた」を参照)
	エンジンの回転が高くなっている	アイドリング調整をする (P.26「1-2. アイドリング速度の調整のしか た」を参照)
エンジンが 停止しない	エンジンスイッチが“ON”	エンジンスイッチを確実に“OFF”位置にする。 (P.16「2-3. エンジンを停止する」を参照)
	リード線端子が外れている	リード線端子を確実に差込む。 (P.16「2-3. エンジンを停止する」を参照)

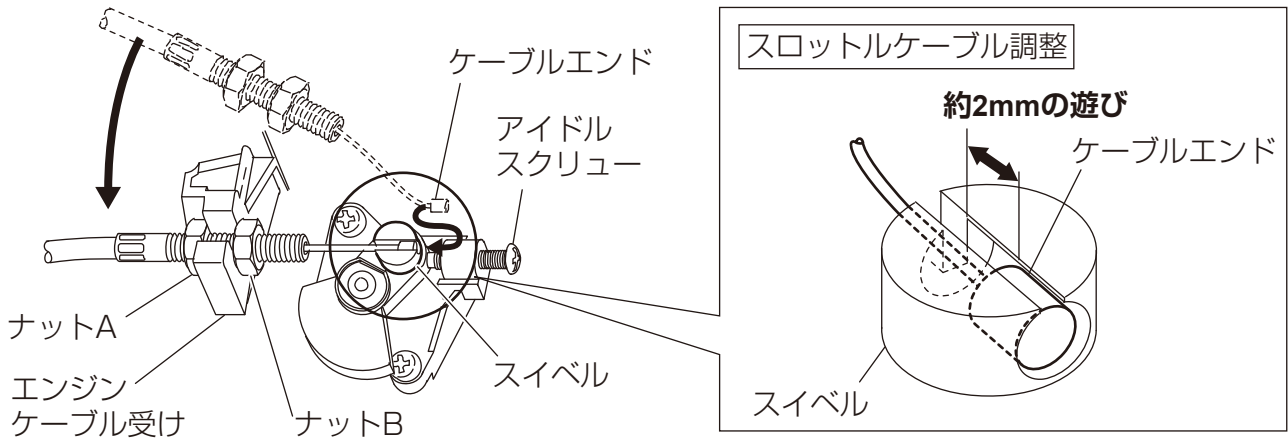
※表は簡単なトラブルシューティングしか記載しておりませんので、わからない点や異常がある時はむやみに分解しないでただちに使用を中止し、お買い上げ頂いた販売店またはサービス店へお申し付けください。

トラブルシューティング

1. 各種調整方法について

1-1. スロットルケーブルの遊びの調整のしかた

アクセルレバーの遊びは、アクセルレバーを始動位置にした状態でスロットルケーブルのロックナットで約2mmになるように調整しナットA・Bで確実に固定します。

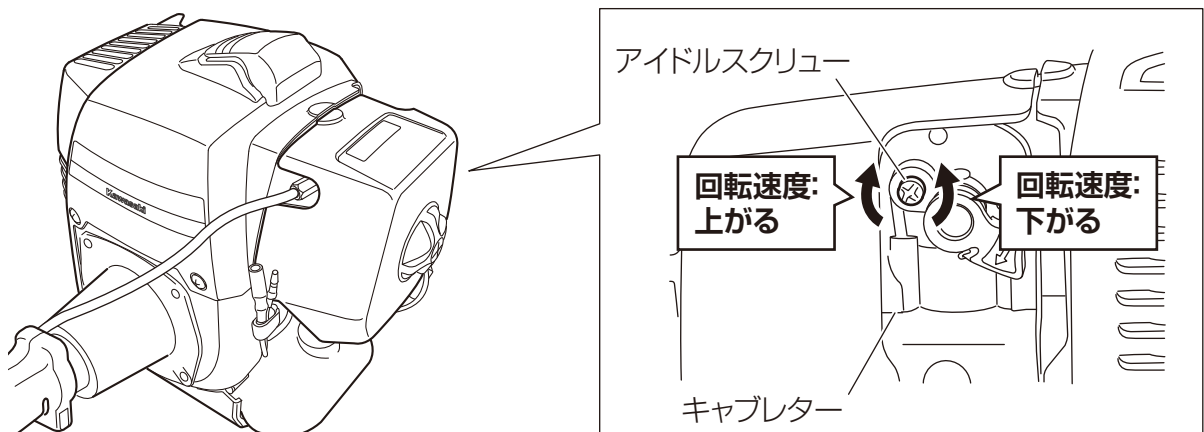


ポイント

- 工場出荷時には調整してありますが、スロットルケーブルの取り回し状態やハンドルの取付位置等により、調整がズれる場合があります。

1-2. アイドリング速度の調整のしかた

アイドリング時にブレードが回転する場合は、ブレードが回転しなくなるまでエンジンの回転速度を下げ、エンストする場合はエンジンの回転速度が上がるように、キャブレターのアイドルスクリューで調整してください。





製造番号

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

本機を末長くご愛用いただきますようよろしくお願いいたします。

本 社

兵庫県小野市本町10番地 〒675-1372
TEL (0794) 62-2391代 FAX (0794) 63-5211

東京支店

東京都中央区日本橋小伝馬町8番3号 〒103-0001
TEL (03) 3664-8811代 FAX (03) 3664-8860

九州支店

佐賀県鳥栖市養父町473番地2 〒841-0005
TEL (0942) 85-9277 FAX (0942) 84-2700

新潟・三条出張所

新潟県三条市神明町2番1号 〒955-0063
TEL (0256) 32-9971 FAX (0256) 32-9671

KINBOSHI

Corporation

園芸機器総合メーカー

キンボシ 株式会社

2077Ai-1501